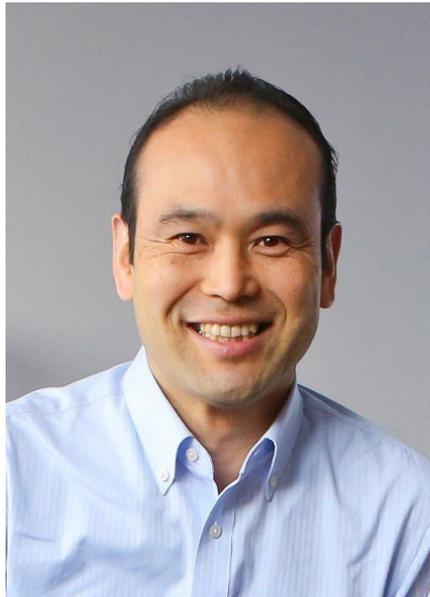


地域人材ネット

くりでんミュージアム 産業遺産の保存活用と地域活性化

柳沢 伸也 (やなぎさわしんや)

株式会社やなぎさわ建築設計室 代表取締役



○ 登録者情報

所在地

東京都新宿区

略歴

1994年 早稲田大学大学院修了
1994～2002年 株式会社日建設計
2002～2005年 イタリア・ミラノ工科大学建築学部研究員
2005年～現在 やなぎさわ建築設計室主宰
2006年～現在 早稲田大学都市地域研究所 招聘研究員
2016年～現在 文化庁近現代建造物緊急重点調査事業(建築)委員会委員
2018年～現在 千葉大学工学部 非常勤講師
2018年 日本建築学会東北建築賞特別賞 宮城県栗原市くりでんミュージアム／柳沢伸也+氏家建築設計(廃線後放置された駅舎や車輛保管庫等を鉄道博物館へと保存再生した事業における企画から設計)
2019年～ 鶴岡市の委託で、鶴岡市街地中心部の商店街活性化に取り組んでいましたが、2020年度は新型コロナ感染拡大の影響を受けてストップしています。

著書・論文等

2020年 『日本の建築文化事典』共著,丸善出版
2019年 アッジのサン・フランチェスコ聖堂における震災被害からの災害復旧と耐震手法について,日本建築学会学術論文梗概集2019
2018年 イタリアの歴史的建造物の震災復興と耐震対策について,日本建築学会学術論文梗概集2018
2016年『今、ある良い建物を使い続けるために』共著,東京弁護士会歴史的建造物部会+日本建築家協会
2014年『コンパクト設計資料集成 都市再生』,共著,日本建築学会,丸善出版
2011年『季刊まちづくり第32号 杜の都 海の手からの再生』,共著,学芸出版社

〇くりでんミュージアム 産業遺産の保存活用と地域活性化

取組の内容

2007年に廃線となった「くりはら田園鉄道」の旧若柳駅及び車輛保管庫等を、産業遺産として保存し、周辺一帯を後世に伝えるミュージアム公園として再生しました。東日本大震災後に文化財ドクターとして調査に加わったことがきっかけで、企画から設計まで参加しました。調査当時は、震災により崩壊寸前の建物でしたが、地元の方々の熱い思いにほだされ、皆が一体となって保存活用に動き出した経緯があります。耐震補強などの技術的アドバイスに加え、法的対応策などをアドバイスし、最終的には公的な補助金が適用されることによって、瀕死の状態だった産業遺産がよみがえりました。列車はいつでも動くようにメンテナンスされ、動態保存という状態で展示されている鉄道博物館です。

本プロジェクトは、地元の(株)氏家建築設計事務所の尽力の他、(有)左知子建築設計室、(株)HAAS篠田義男建築研究所、山形大学の永井康雄教授らとの協力によって実現しました。



鶴岡まちづくりワークショップ



鶴岡地域防災ワークショップ

実績

2017年4月に開館した「くりでんミュージアム」は今年で5年目を迎えます。有料入館者数は年間約1.5万人程度と伸び悩んでいるものの、1回500円の運転シミュレーター利用は1年で1800回に達しています。想定よりも市外からの来館者割合が高く、首都圏や仙台県からの来訪が目立っていることから、運営する市は、くりでんの魅力は大きいと評価しています。今後は、動態保存車輛の運転体験開催を増やすなど工夫を行い、リピーター増を目指します。

工夫した点や苦労した点

くりでんミュージアムの基本設計段階で、全国の鉄道博物館を巡って調査研究を行い、本施設ならではの特色を見極めることに苦労しました。いつでも運転再開が出来るようにメンテナンスされていたことが決め手となり、全国でもめずらしい動態保存型の鉄道博物館が実現されました。

ひとことPR

定期的に行われている「くりでん乗車会」、「レールバイク」は子どもや大人にも大人気です。また、隣接する鉄道公園芝生広場は遊具や、JA農協の店舗などがあり、家族で過ごすにはうってつけの憩いの広場です。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	○ 廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
○ 建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 産業遺産の観光化
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域プランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

やなぎさわ建築設計室	https://yanagisawa-archi.com/

連絡先

メールアドレス	studio〔アットマーク〕yanagisawa-archi.com		
---------	------------------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。